

国民読書年！ じゃあ、読もう。



**「フラワーハンド」開講**

八重瀬町社会福祉会館にて4月25日、手話サークル「フラワーハンド」の設立総会が開催されました。旧具志頭村、旧東風平町に手話サークルはありましたが、町村合併後に両サークルとも休会状態となり、社会福祉協議会とサークルの利用希望者などが手話の普及に取り組むために、両サークルの合併と活動再開を目指して今年度、新たに八重瀬町の手話サークルとして発足しました。

本サークルの富田朝子会長は「手話を学ぶことで聴覚障がい者への理解を深め障がいのあるなしに関わらず、誰もが安心して暮らすことのできる住み良い地域を目指したいです。また、みんなで勉強するだけでなく、あそび心も入れて楽しく活動していきたいです」と話していました。本サークルは、毎週木曜日午後8時から午後9時30分八重瀬町社会福祉会館2階集客室にて活動しております。

お母さん、ありがとう

東風平郵便局は、母の日にちなんで「お母さんありがとう母の日似顔絵展」を4月22日から5月14日の期間に開催しました。展示会では、みどりが丘保育園ふじ組17名の描いた絵が展示されました。5月7日には、絵を描いた園児たちを招き、郵便局からお絵かき帳などのプレゼントがありました。展示されている絵には、「ぼくのおかあさんはやさしいりょうりもぜんぶおいしいです」、「おかあさんいつもいっぱいせんたくしてくれてありがとう」など園児たちのコメントがつけられていました。

神里政人局長は、「郵便局を利用するときの待ち時間などに見てもらいたい。また、多くの方の目にとまり楽しんでもらいたいの、窓口業務が休みのときは、外側の窓からも見られるようにしています。今後も、サービスの一環として継続開催します。」と話しました。



みんなのヒーローがやって来た

ニライカナイから琉神マブヤーと龍神ガナシーが八重瀬町にやって来きました。昨年、やえせまつりの雨の中、子どもたちが琉神マブヤーの曲に合わせて元気に踊っていたのを見て、もう一度いっしょに踊って元気を貰おうとみどりが丘保育園に現れました。突然の登場に、お誕生日会をしていた子どもたちは大喜びしていました。その後マブヤーとガナシーといっしょに歌をうたったり、元気に琉神マブヤーの曲に合わせて踊りました。園児たちからは、「マブヤーの踊るときはキックのポーズがかっこよかった」、「ガナシーに抱っこされて、うれしかった」、「マブヤーとガナシーはお父さんよりかっこよかった」、「マブヤー、ガナシー来てくれてありがとう」という感想があり、楽しいお誕生日会となりました。



交通死亡事故「ゼロ」4年間達成

春の全国交通安全運動が4月15日（最終日）、東風平交差点で行われました。あいにくの雨でしたが、「安全運転ありがとう」の横断幕を掲げ、記録更新に向け協力を呼び掛けました。町内では平成18年4月14日以降、交通死亡事故ゼロを更新中。比屋根方次町長は「4年間交通死亡事故がなかったことは、町民の皆さまの協力があったからこそ達成できた。これからも交通死亡事故のないまちを目指したい」と話しました。



「無事カエル(帰る)」と願いを込めて

具志頭児童館の母親クラブが4月2日、具志頭小学校（渡名喜庸清校長先生）新一年生57名と新城小学校（座嘉比幸枝校長先生）新一年生23名に交通安全を祈願したお守りとして手作りのカエルのマスコットを寄贈しました。「無事カエル(帰る)」ことを祈願して作られたもので、母親クラブの上原直枝会長から両学校の校長先生に手渡されました。



カヌー日本代表で 国際大会へ

2010ピースタナー国際カヌーレガッタ（5月21日から5月23日）入口パークで開催に出場する沖縄水産高校の大城海輝選手（字東風平）が5月12日、八重瀬町役場を訪問し、大会への意気込みを語りました。

「小学校は野球、中学校はサッカーをしていました。カヌーを始めたのは高校一年生のとき、母親に進められたのがきっかけです。母親の家族がカヌー一家なので、カヌーを始めるのに抵抗はありませんでした」と照れながら話す大城海輝選手。

比屋根方次町長は、1、2年で世界大会に出場することはすばらしい、町の誇りです。日本代表としてがんばってください」と期待を込めて激励しました。

平良祐喜監督は「彼は、未完成。まだまだ秘めているものがあり、これからもっと成長します。今後がとも楽しみます」と期待を込めて話しました。大城選手は「ペアで出場するので、先輩の足を引っ張らないで、良い結果が報告できるように精一杯がんばります。今年は美ら島総体もあり、優勝を狙うので応援をお願いします」と頼もしいあいさつをしました。



